

城南コミュニティセンター市長懇談会

○日 時：平成 30 年 7 月 27 日（金） 午前 9 時～

○場 所：城南コミュニティセンター

○参加者：14 名

○担当者：市長

地域担当職員 堀瀬（人権課）・石丸（市民課）・安藤（健康課）

1. 市長あいさつ

毎年、市長懇談会を開いていただきありがとうございます。貴重な意見をそれぞれの地域からいただいている。コミュニティごとに地域性があり、その地域にあった政策が必要だと思っている。この懇談会というのは非常に有意義で、皆さんのご意見を聞くことが重要だと考えている。今年もよろしく願います。

初めに新しい総合計画と都市計画のマスタープランの見直しについて簡単にご説明したい。まず総合計画。合併後に作成した総合計画は 10 年計画で平成 28 年に終了したため、昨年、第二次総合計画を策定した。この第二次総合計画は 8 年間の計画で、目指す将来像を「豊かで暮らしやすいまち 丸亀」としている。本市は東洋経済のランキングでまた四国一位になり、暮らしやすいという意味では高い評価をいただいているが、総合計画の中で 5 つの基本方針に分けてまちづくりを進め、皆さんが暮らしやすさを実感できるようなまちを実現したいと考えている。

5 つの基本方針、1 つ目は心豊かな子どもが育つようなまち。2 つ目は安心して暮らせるまち。3 つ目は活力がみなぎるまち。4 つ目は健康に暮らせるまち。5 つ目はコミュニティ活動などを中心にみんなでまちづくりを進めていこうということにしている。いずれも当たり前のことだが、当たり前の政策をきちんと積み重ねることで丸亀市が持っている魅力を高めていきたいと考えている。コミュニティ活動などを中心にお互いがお互いに助け合うようなそういう雰囲気のマチにしたい。

次に、都市計画のマスタープランについて、2007 年から 2026 年度までの 20 年間を目標期間としているが、ちょうど中間を過ぎたため、昨年、1 年間かけて見直しを行なった。エリアを 4 つに分けて目指す将来像を決めている。4 つの地区に分け、それぞれに地区について重点的に整理合併後、土地は広くなったが、丸亀市の中心はやはり JR から丸亀城、大手町付近が中心拠点になるということで改めて中心市街地に位置づけさせてもらった。新しい市庁舎もそこに建設する。公共施設や教育・文化施設

は点在させるのではなく、中心市街地に集約させて、コミュニティバスなどの公共交通を整備するという構想にそってまちづくりをしていく。そのような計画である。

2. 懸案事項

(1) コミュニティセンターの改築・整備について

(会 長)

城南コミュニティセンターは、平成6年に新設し、築25年近く経っている。城南地区は人口1万人以上いる。人口が1万人以上の地区は、郡家、城坤、土器、飯山北、城南の5地区しかない。郡家、城坤、土器は新築し、飯山北は改修すると聞いている。城南コミュニティセンターは改修などの計画もない。25年経過したがまだ使えるので新築して欲しいとは言わないが、雨漏り等もしているのもので、それなりの改修をしてもらい今後も利用していきたい。また、建設時の人口は約8,000人だったが、現在は1,0551人である。また年間の利用者数も27,700人近くいるため部屋の数が足りない。昨年もお願ひしたが、中庭をウッドデッキなど憩いの場に整備してもらいたい。そこを地域住民が気楽に交流できるサロン「みなみ のんきサロン」で利用したいと考えている。改築せず我慢して活動しているので、来年度に向けて整備をお願いしたい。

(市 長)

城南地区はとにかく人口が増加している地区だと思う。また積極的に地域活動をしていただいていることも理解しているので、屋根についても以前からの懸案事項なので、なんとかしたい。計画的に各コミュニティセンターの補修や改築をしているが、やはり大きな予算になる。例えば災害対応ということで雨漏りに対する修繕、人口が増加しており、部屋が不足しているため「みなみ のんきサロン」の部屋が必要だと具体的な目的まで決まっているので、頑張ってみたい。ウッドデッキについて、地元企業に見積もりをとっていただいたということなので、地元である程度工夫してやっていただいた方がかなり安い値段でできる。いろいろ工夫していかないとダメだと思っている。

(会 長)

城南地区は66歳～71歳までそれぞれ100人ずついる。そういう人を活用してコミュニティ活動を活性化していきたいと考えている。専門知識を持っている人もいるので、コミュニティの管理費に、その工事費等も含めるということを前向きに考えてもらいたい。

(市 長)

他の地区とのバランスを考えなければならない。

(会 長)

城南地区は新築を望んでない。人口が1万人以上のコミュニティは新築や改築をしている。そこまでは無理を言っていない。

(市 長)

例えば多少の工夫でいけるのであればコミュニティの補助金や交付金を活用するというのはどうか。

(会 長)

知恵を出しあってやっていくので、協力お願いしたい。

(2) 城南小学校の施設拡充と関連施設の整備について

(会 長)

第二次丸亀市総合計画の中にも心豊かな子どもが育つとある。城南地区では、人口増にともない、城南小学校の生徒も600人を超えている。子供達は地域の宝なので何かしていきたいと考え、防犯パトロールや野菜作りとか米作り、夏休みを利用してサマースクールを開催し、多くの子どもたちに参加してもらっている。講師は地域のボランティアでまかなっている。団塊の世代を含めた高齢者が多くおり、世話する皆の方が活気にあふれているように思う。今後も息の長い事業としてそういったものに取り組んでいきたい。

今年の一年生は4クラスになったと聞いている。31年度以降も郡家小学校の次に新入生が多いのが城南小学校だと聞いている。今後の動向を把握し、教室が足りないということのないように考えていただきたい。現在、城南小学校の青い鳥教室は旧公民館を利用している。今後もずっと旧公民館を青い鳥教室として利用するのではなく、東側に小学校の駐車場・城南保育所の駐車場、またその付辺で野菜作りをしている農地もある。小学校に隣接した場所に作った方がいいのではないかと思う。

東隣の三谷さんの空き家は相続人がおらず財産等が全部国のものになるという話を聞いた。国に渡れば競売にかけられ、民間のものになってしまうので、城南小学校の為に必要な土地なので市が買収、また国に相談するなど早めに行動していただきたい。

小川さんという方の畑を今までは保育所が使い今年から小学校も野菜作りに使っている。その場所は以前、城南小学校のプールを建設する候補地であった。その時には売らないという考え方であったが、所有者も高齢になり市が購入するなら売ってもいいという考えに変わった。城南小学校の周りには田んぼがなく、小学校と保育所のために利用できる土地はほとんどない。そういったことをふまえて、将来的に前向きに検討して欲しい。

(市長)

城南地区は子どもがどんどん増えている場所である。それで学校の施設改善も全体をみた上での長寿命化計画立てている。絶対の予測はできないが、子どもの人数を考慮に入れながら計画していく必要があると思う。

土地については、いいお話だと思う。市役所ではなかなか情報を掴めない。地元の方でいい情報を市と協議して手遅れにならないように手を打っていきたい。安く譲ってくれる、ご寄附あるいは実費程度で譲っていただければ、話が前に進めやすいので、地元の皆さんにも力を貸していただきたい。今後も継続して検討させていただく。

(会長)

インターネットで路線価が全てわかるので、自分の所の田んぼがいくらかということはわかっている。市で実際の売買しているのと路線価とはかけはなれていると思う。その辺りはご理解いただきたい。昔の購入価格からすると今は極端に安い。

(市長)

適正な価格を支払わないという意味ではない。

(会長)

今は保育所・小学校も駐車場で利用しているが、競売にかかったら本当に困る。情報が入った段階で手遅れにならないようにして欲しい。三谷さんの土地の件については、絶対手遅れにならないように組織的にやっていただきたい。城南地区の緊急の課題であるのでよろしく願います。

それともう一つ補足で付け加えておくが、青い鳥教室で利用している旧公民館について、担当に聞くと学校施設ではなく公民館施設のため、学校施設として活用できないと担当から聞いているが、20数年前に発生したことで、事務処理の怠慢でないか。例えば先ほどの三谷さんの家をリフォームすれば青い鳥教室に十分活用できると思う。

(市長)

今後はそのような柔軟性が大事だと思う。例えば三谷さんのお家を改築し、地域で学校支援ボランティアの力も借りながら、子どもたちを見守る、また高齢者の生きがいつくりの場所にする。そのようなアイデアにもできるだけ対応するようにしていかなければならないと思っている。青い鳥教室やサマースクールも柔軟にやっていただいてありがたい。

(会長)

コミュニティセンターの中庭をウッドデッキに作ればけっこう広さもあるので、そこへ机を並べて、大人のサークルとは別にそこで子ども達が放課後利用することも可能である。地域の人がどのように工夫して使うかということになると思うので、考えていただきたい。

学校の北側の市道の東西線は、大勢の子どもが通学路で通っている。以前より要望している道路拡幅について、できる場所からお願いしたいと思っているが、ほとんど進んでいないように思う。

また大阪北部の地震でブロック塀が崩れた事故があった。グリーン为学校ゾーンの線を引いている学校前の道幅は4 mほどでブロック塀も沢山ある。私も歩いたが、老朽化して危険があるブロック塀があることがわかった。通学路の危険なブロック塀を補修するには費用がかかるので、市で救済措置事業を立ち上げていただいたら、所有者にも言いやすい。城南は人口増えて、子ども達も増えている。道路管理者として、子ども達が安全に登下校できるようにして欲しい。

(市長)

市としてはこの道路はタイミングを捉えてやるということにしているので、整備しないという話ではないと思う。避難場所も広げていくよう考えている。

(会長)

東西線どこからでもいいのでやっていただきたい。

(市長)

一筋縄ではいかないかもわからないけど長い目で見ていただいて、取り組んでいきたい。危険なブロック塀の撤去の補助について、全国的にもそういう動きがある。検討している。ある地域では通学路の危険なブロック塀を点検し、所有者の了解を得て危険なブロック塀へ張り紙を貼る取り組みをした。いろいろな方法で子供の安全を守らなければならないと考えている。

(3) 原田団地について

(会長)

原田団地は最高800人以上の住民が住んでいた。現在は230人ぐらいになっている。その中で一人暮らしの高齢者が確か68名でまだ増加していると聞いている。高齢者は65～69歳が約20人で、70歳以上が約75人なので95人ぐらいである。半数近くが高齢者になり、世話をする人がいない状態になっている。市営住宅は市の施設なので、既存の住宅で助け合いができるような施設整備を考えていただきたい。来年度は民生委員の改正時期だが、現在、一人の民生委員さんが世話をしている。独りで70人ぐらいの人を世話をしているのは大変だと思う。解決方法を真剣に考えていただきたい。

(市長)

市営住宅なので当然市の責任もあると思うので、現状の体制を一度考えなければならな

い。長寿命化計画の中で、建て替えると決定している。どういうものを建てるのかについては未定である。これから先の高齢化社会考えると、高齢者世帯であっても住める公営住宅を作る必要があると思っている。また個別の基本計画というのはまだ作る時期ではないが、できれば今年度中に民生委員さんや地域の皆さんとどういう方向で話し合いを進めたいのかという会を開催したいと思っている。

(男 性)

今年に入って一人暮らしの方の孤独死があった。年によっては3,4人亡くなっている。孤独死、誰にも看取られず、かなり深刻な状態が増えてきたように思う。人口が増加すれば、独居老人もいろいろな人の目に触れる、いろいろお世話していただける方も増えればと思う。いろいろお手伝いしてもらってお世話できる方もいないので苦しい面がある。課題はたくさんあるが、一人でやるにはなかなか難しい。

(会 長)

近々具体的な相談をさせていただきたいのでよろしくお願いします。国道11号沿いで一番良い場所なので、先程の総合計画にあるように複合施設を建設するのがいいと思う。私は市民会館を建設するのが複合施設で一番良いと思う。

(市 長)

市民会館になるかどうかは別とし、複合施設という考え方はこれから必要である。場所的には善通寺の境なので、善通寺と共用で使う建物を作るという考え方もある。さまざまな手法を検討していきたい。厳しい財政状況の中で工夫しながらやらせていただく。

3. 自由討議

①人口の把握について

(会 長)

人口の推定で城南地区は7月1日現在で10,572名。これはホームページ等にある定住人口ということで記載されている。市全体では133名減少しているが、城南地区は4月から67名増加している。

しかし住民基本台帳では平成30年4月の数字は8,147人になっている。市民活動推進課からもらったデータと2,000人も違うのはおかしいと思う。調べ直して欲しい。また、いろいろな課で出す人口が違うのか、住民の中に誤解が生じるので、市の中で統一して市民に出す時には統一して一本化するようにして欲しい。

(市 長)

国勢調査と実際に住民票を置いている市民の人数は違う場合がある。住民票を移動せず

に人が移動しているから。国は国勢調査というのを重視するが、市が発表できるとすれば住民基本台帳の移動の人口ということになると思う。数字データについては確認してみる。

②自治会加入について

(会 長)

城南地区の自治会加入率は丸亀市内でワースト1である。40パーセントを切っている。新しい住宅が建設されている。自治会に加入してもらえるように話をしているが、なかなか難しいのが現状である。市民活動推進課だけが自治会に入りましょうとPRするのではなく、全課がするようにしていかなければならない。例えば私道の寄附採納や新しい住宅の開発段階に自治会がなければダメだというような工夫をしていただきたい。市が一致団結して我々がやりやすいようなコミュニティ作りをしていただきたい。

(市 長)

法的にどこまでやれるかを検討しなければならない。昨年、自治会に入らないといけないという条例を作ろうといろいろ検討したが、裁判の判例もあり、難しいということで断念した。今回の総合計画でも重点プロジェクトで加入率6割を目標にしている。自治会加入が地域社会では基盤であるので、実質的に確保する方法を検討したい。

②地域担当職員について

(男 性)

先ほど地域からの情報が入らないという話をしていたが、昔は地元のイベントなどには市職員は積極的に参加していたように思う。今はそういうのには参加するなという空気が流れていると聞いた。そういうイベントなどに参加することにより地域の人と話が聞けると思うのだが。

(市 長)

市が行かないようにと指導することはない。

(男 性)

以前はもっと積極的に参加するよという方針だったらしく、市職員の姿をよく目にしていたが、最近は全く見ない。

(市 長)

地域担当職員を配置し、折に触れて地元へ行き活動するようにと話はしているのだが、まだ浸透していないようなのでまた言うておく。

先ほど言うていただいた予算使わなくてもできるという話は本当にありがたい。それを

制度的なものなどが壁になり、実現することが難しい場合もある。地域が全体合意をまとめていただけるということがあれば可能だと思う。

(男 性)

無駄なお金は使わないようにして欲しい。本当に有効なところに使って欲しい。職員には郷土愛を植えつけるように教育をお願いしたい。地域担当職員は地元の方なのか。

(地域担当職員 堀瀬)

元々は違うが、今は城南地区に住んでいる。

(男 性)

いろんな方と会っているが、今まで会ったことがないというのは全然来てないということだと思う。

(会 長)

今年から変更になった。去年3月までは違う人がいた。

(市 長)

今年から変更になった。若手はいろいろ経験してもらわないといけないという意味で1年交代にしている。管理職は3年、若手は1年交代としている。

③新池について

(男 性)

城南小学校とコミュニティの間に山北新池という池がある。今はあまり使っていないと聞いている。何も使っていない池をそのまま放置していても意味がない。安心して暮らせるまちと書いているのだから、安心して住めるまちにする必要がある。子どもの通学路になっており、安全パトロールの際、危険だと思うことがある。高齢化になったら徘徊する人も出てくるし、落ちて死んだ人も何人かいる。30年以内に南海トラフ地震が発生するという予想もあるなかでやっぱり危険場所を減らしていくことを考えて欲しい。

(市 長)

池はかつて絶対に潰させないという一つの大きな法律、制度的にもそうであった。最近になり、受益者が減り誰から見ても不要な池が増えてきて、県もようやく小規模なため池で受益者がいない、管理者がいないところは潰すという事業を始めた。市から県に埋め立てを許可してもらおうということは不可能ではないと思うが、なかなか条件は厳しい。おっしゃるように山北新池は子どもたちなど多くの人利用しているので危険だと思う。安全な方法を考えなければならない。潰すというのが一番かもしれない。受益者が本当にいないのであれば地域で相談していただいて潰して欲しいという要望出していきたい。

(男 性)

山北上水利の役員をしているが、山北下水利組合の組合長と話をし、今日山北新池について話をすることの了解を得ている。山北新池は水利としては全く使っていない。山北下水利組合が草を刈っているだけである。農業する人も減っており、草を刈る人も高齢化しているので、大変だと思う。

(市 長)

水利に同意していただかないとならない。

(男 性)

土手を自動車も通るので非常に危険区域である。

(市 長)

道幅を広げたら車がくるのでなかなか難しい。おっしゃることはよくわかるし、同感ではある。本当に池は潰させてくれない。

(男 性)

県庁に勤める息子も難しいと言っていた。

(市 長)

今やっと考えが変わってきつつあるので、要望していくべきだと思う。

(会 長)

これだけ農地が減ってきているので、丸亀市全体の農業の再編が必要だと思う。例えば生かす池とそうでない池を選別する。田村池とか先代池を雨水の調整池で利用する。干潮の時に合わせてある程度放水して大雨に対応するなど、そういうビジョン戦略を立てなければならない。

(市 長)

池の権利運用は本当に難しいが、市として常にお願ひしていかなければならない。補修、耐震改修などの計画は必要であるし、計画がないということはない。

④敬老会について

(男 性)

敬老会の見直しを段階的に 80 歳になる。また祝い金については見直しということが急に決まったように思う。確かに高齢者が増加しており、年々引き上げるということはあると思う。個人的には来年から 80 歳に引上げるというようにしても良かったのではないかなと思う。

(市長)

去年から議論があった。急にするのはいけないので、春にアンケートを取り協議した結果、今年からということになった。77歳の祝い金については、平均寿命より若い年齢の人に祝いというのはどうなのかということで廃止する方向で検討している。敬老会については段階的に引上げて最終的に80歳からということになった。これまで75歳で案内しているので今年から1年ずつ引き上げていって最終的に80歳にする。浮いた予算は高齢者の交通の確保に利用できればいいと考え、手法を検討したいと思っている。

(男性)

75歳からの敬老会でもお金を使わないでやることはできないか。知恵をしぼっていかないと今からの地域の運営も市の運営もできないと思う。

(男性)

公民館に来た人が市長の話やコミュニティの会長の話を聞く、皆その日はそこに集まって話をするそういう敬老会なら値打ちはある。市からもらったお土産だけもらって帰る敬老会では意味がない。

(男性)

それを楽しみにしている人もいるということは忘れたらダメだと思う。全員満足することはない。

⑤郡家街道拡張について

(男性)

郡家街道の拡張の話が7、8年経っている。一向に進まないがどうなっているか。交通量がとても多い。

(市長)

県道なので県が事業主体である。予算がつかないことには事業が進まないの、とくに家がたくさん建っている所は、用地買収の費用が多く必要で買収も難しい面がある。用地買収の面でもなかなか難しく前に進んでいないように思う。

(会長)

高松の国際ホテル通りは今非常に広い道路になっている。あの部分にもたくさんの方が建っていた。高松はできて丸亀はできないのかと県に言ってみてはどうか。

(市長)

あの道路も何十年もかかっている。市として要望はしている。

⑥コミュニティバス停留所について

(男 性)

コミュニティバスの停留所の設置場所は、利用者の利便性とか安全性とかいろいろ考慮して決められると思う。ぽかぽか温泉の停留所が一番近いので時々利用しているが、県道の上り車線には歩道がないので路側帯に停留所あるが、車が多く通るので危ない。先週ちょっと行ってみたら停留所に雑草がたくさん生えていた。50cmしかないので、雨の日に傘をさしたら車に当たりそうになる。あの場所を停留所にするのはやはり危険だと思う。一度確認いただきたい。

(市 長)

常に停留所の場所の見直しはしているが再度確認したい。今後、高齢者の比率が高まるので、道路の拡張の話もあったが、全体的に交通弱者を大事にするような社会を作るといふことが必要だと思う。

⑦民生委員について

(男 性)

民生委員のOBとして意見したい。現在、民生委員の体制そのものは非常に難しい状態である。来年改選になると思うが、今の状態では後任を選ぶのも難しい。後任を民生委員が見つめて辞めるという体制になっている。後任を選べないから欠員になっていると思う。原田団地の件もあるが、民生委員や自治会長以外に行政の方でも応援していただきたい。そうでないと民生委員制度そのものが危うい状態になりかねない。もっと民生委員に力を入れていただいて育てていかないと地域の福祉も難しくなると思う。よろしく願いしたい。

(男 性)

来年の11月が改選になる。今の城南地区には民生委員が10人ほどいる。聞くと、その半数が辞めたいと言っている。自分が辞めて後継者作ったらいいのだが、なかなか難しい。行政のOBや中にはボランティアをしたい人もいると思う。行政に聞くが守秘義務があると教えてくれない。ちょっと協力していただけたらと思う。今は75歳で定年しているが、民生委員の人数が減るのはいけないので引上げたという地域もあると聞いている。

(男 性)

やる気のある方で身体が元気な人は本人が希望するのなら75歳以上でもやってもらえたら一番助かる。

(男 性)

厚生労働大臣の受託を受けている以上は誰でもかれでも推薦するわけにはいかないような気がする。

(女 性)

昔は民生委員の定年はなかった。十何年くらい前に定年ができたと思う。75歳の定年をやめて元気でやっていただける方は続けてもらおうというのも1つの手だと思う。お元気で前向きでやっていただける方がいたら75歳で定年というのではなくて80歳まででも本人がやっていただけるのであればやっていただいたらどうかと思う。

(市 長)

法律との関係もあるのでどういう方法をとれるか十分に検討したい。

(会 長)

今1人が対応しているウエイトが大き過ぎる。できるだけ負担を軽くしてあげて欲しいと思う。城南地区は66歳から71歳まで500人ぐらいいる。出てきてもらって活動していただきたい。学校支援など取り組みやすいところから地域活動に参加してもらうのが非常にいいと思う。

⑧丸亀城石垣修復について

(男 性)

この前の豪雨でお城の石垣が崩れたが、石垣の全体の修理が14年かかると聞いた。予算とかいろんな関係で修理ができないこともあり、14年間かかると思う。丸亀城を見に来る観光客も増えている。文科省の関係であるから難しいと思うが、丸亀城に観光に来た人や丸亀市民の中に対し、例えば寄附すれば石垣に自分の名前を残すなど、そのような手法で資金を集めるのはどうか。

また石垣の修復作業工程をお城を見に来た人に見えるようにするというのも一つ観光の目玉になる。いろいろな手法で資金集めやアピールをして欲しい。

(市 長)

寄附を募る方法として、ふるさと納税の中に丸亀城の整備というのがあり、けっこう好評である。市民のなんとかしたいという気持ちがあると思うので、なんらかの方法は考えたい。ただ石に名前書くというのは非常に難しいと思う。石垣を積んでいくところの説明書きとかガイドとかいろいろなことを含めて石垣修復を観光資源にということは現在検討している。工夫してやりたいのでお願いします。

(男 性)

PR が足りないと思う。映画監督など有名な人を利用して、お金をかけて映画作るのもいいと思うが、地元には個人で撮ってどんどん投稿している人もいれば、PR のプロもいるので、利用した方がいい。

⑨避難所開設マニュアルについて

(男 性)

市のホームページに避難所開設のマニュアルを最近載せている。コミュニティの方にも来ているのか。

(会 長)

来ている。開設方法を書いているだけであるが。

(市 長)

見たらチェックリスト式になっているのでわかりやすいと思う。

(市 長)

本当にありがとうございました。いつも具体的でいろいろ貴重な意見をちょうだいしている。今後の宿題として頑張りたい。ご協力よろしく願います。